



ヤングアダルト

YA本研究会だより

2026.3

Vol.8



— 今年度最後の… —

去年の春、初めて会った時よりなんだかみんな大人になっていて、中高生の成長ぶりを間近で見られたことをとても嬉しく思った最後の研究会。今回は、おすすめ本リスト Vol.18 の内容の確認と、テーマ展示も決めてもらわなくちゃーと考えながら、ふとみんなを見ると、紹介する本を全員持って来てくれていて…。「せっかくだから本の紹介しようか？」との問いかけに、「まあ、時間があつたら、くらいで…」と言っていたのにも関わらず、「その時」が来たら、いつものようにノリノリで語ってくれる頼もしいメンバーたち。そのラインナップは以下のとおり。

- ★『長くつしたのピッピ』アストリッド・リンドグレン/作(岩波書店)
- ★『死神の精度』伊坂幸太郎/著(文藝春秋)
- ★『風神雷神』(上)(下)原田マハ/著(PHP 研究所)
- ★『あるかしら書店』ヨシタケシンスケ/著(ポプラ社)
- ★『空色勾玉』荻原規子/著(徳間書店)
- ★『ぐりとぐら』中川李枝子/さく(福音館書店)
- ★『頭のいい人だけが解ける論理的思考問題』野村裕之/著(ダイヤモンド社)
- ★『判決はCMのあとで ストロベリーマーキュリー殺人事件』
青柳碧人/著(角川書店)

どの本も糸島市立図書館に
所蔵があります

「小さいころお母さんに読んでもらった」「リアリティがあつておもしろい」「発想力がすごい」「ずっとパンケーキだと思ってたらカステラだったことがわかって衝撃だった」「受験中に家族でハマった」などなど、読んでみたくなるようなエピソードもちゃんと語ってくれました。『頭のいい人だけが～』の紹介後は、みんなで問題を解いてみて、正解を出したあとの爽快感も味わえる楽しい最終回でした。

これから新たな場所に羽ばたく人、来年度もこの研究会に参加してくれる人、それぞれですが、きっとまたいつ会っても好きな本や色々な話題で盛り上がるんだろうな、と思えるほど、今年度はとても雰囲気の良い研究会でした。



私たちの
バトル会場にて

また、この場所で
会いましょう



YA 研の展示コーナー

今回のテーマ「春！…まだまだ春」【期間：3/22～5/24】

糸島市立図書館/発行